



私たちの「命の綱」である土建国保は度重なる社会保障の切り捨ての中、実質一〇割給付の維持など、その優位性を保ってきました。昨年末より行われた朝日新聞をはじめとするマスコミによる国保組合に対する報道に対し、国保組合の正当性を主張し、育成・強化を図っていきます。これらの攻撃は、政府が進めようとしている医療保険議員への賛同を強化し、

区民にも定着した
手すり取付ボランティア

① 地域に根ざしたとりくみ

主体的に行う事は、住宅（一）すみだ分会住宅デ

「安心・安全の地域や住 　て発信していくことが重

まいづり」の実現を目指し、住宅に対する区民の様々な問題を解決し、区民から信頼される施工者集団としての取り組みを強化していくことです。また、行政や他団体と共同した取り組みを発展させることにより、

の継続した運動から、自治体や地域住民との信頼関係を築いてきました。その結果、まちづくり公社との修築幹旋事業の締結、墨田区との家具転倒防止器具取付事業、耐震

入れ体制の強化を図り、地域振興を区民・自治体と連携しながら、組合員の仕事に結びつく運動を進めていきます。また、住宅版エコポイントの創設に伴い、支部でも組合

東京土建として、組合 たちの事業を営

す。また、建築の専門家を、地域住民に示すために、集団として東京土建の組合員が、身近にいる技術の企画や建築職人の技術を披露していく取り組みをしています。

・技能の専門家である事

東京土建として、組合員の仕事と暮らしを守る運動は重点課題のひとつです。墨田支部は、住宅デー、手すり取付ボランティア、住宅まつりなど

これらの事業を継続していきます。また、墨田区発注の公共工事の受注や、区民からの直接の相談なども推進していきます。そのためにも相談の受け

東京建設産業組合と合
を引き出すことが出来

無料相談員派遣事業などを受託し、多くの組合員に事業の提供をしている。組合員の営業活動や仕事の掘り起こしに繋げていくよう準備を進めます。

東京建設産業組合と合同で行っている自治体交渉では、毎年一定の回答を引き出すことが出来ています。区民が安心して住み続けられる町づくり



墨田区の施策の中で、えていく事は、居住地

を旨とするためにも自治体交渉を継続的に行っています。区発注工事は区内業者が発注する事で、地域経済の発展にもつながってきますが、区内業者への発注工事件数の割合は一昨年に比べ減少しています。入札制度の見直しと、下請に対する対応を盛り込んだ評価制度の導入、予定価格の見直し、事前公表の取りやめなど、制度の見直しについて運動を進めていき、公契約条例制定を墨田区内建設団体へも呼びかけ、三者懇の実施、自治体・区議会への懇談を求め、制定実現に向かって運動を強めていきます。

「壊れないまちづくり」の推進が上げられていきます。「墨田区耐震補強推進協議会(墨田耐震協)」は設立して五年目を迎えて、東京土建もその中心的な立場で活動をしています。地域住民の命と住まいを守る活動として、

とに組織している東京土建ならではの支援体制となります。区の期待に応えられるように、分会・地域単位での、災害支援組織の強化を図り、町会・自治会と連携した活動に発展させていくことが重要です。

各町会への耐震補強の普及説明会や、耐震補強フォームの開催など、広く区民に耐震補強の重要性を訴え、耐震診断・耐震補強工事の実施などを中心に行っています。今年度も更に取り組みを展させていただきます。

安心して住み続けられるまちづくりは、医療、福祉、教育、住宅、防災など、様々な視点から進めなければなりません。区民の生活上の問題を解決する事によって、初めて安心・安全なまちづくりが実現出来ます。「N

地域防災活動は、墨田区との「災害時における応急対策業務に関する協定書(防災協定)」の締結により、地域内の災害を進めていきます。

支援組織ができましたが、まだまだ不十分なところがあります。墨田区内に住み、働いている東京土建の仲間が、建築の技術・技能を発揮して、地域の中で災害支援に備

これらの活動は、東京土建と地域住民・自治体との信頼関係を深め、その結果として東京土建の組合員の仕事や生活支援につながる運動として発

展させていきます。